



自分たちが提供する場で
心や感動が
つながるき
っかけを。

チャレンジの 指針

成功は失敗を越えた先にある。
だからこそ恐れるな。
夢に向かって頑張る姿は、
いつの時代も美しい。

「フラットプロジェクト」に創設から携わる中村文信さん。学びや交流を通じての成長を目的とするプロジェクトの活動を重ねる中で「目的は一緒でも方法はいろいろ。枠にとらわれずに物事を考えようと、人とのつながりが幅広くなり、考え方も柔軟になった」と話す。

拠点である福井市呉服町の「フラットビル」では、全国からデザイナーなどを招き、定期的にスクーリングやワークショップを開催。開催を通じて改めて気付いたのは、福井の食べ物の美味しさ。全国から訪れた講師は、必ずそのことを口にした。中村さんたちは「福井の食の素晴らしさをもっと全国に発信する場を設けたい」と考え、東京で福井の食をアピールする「ふら

〜つとふくい家祭(やさい)事業」を提案した。その予算を確保するため、「ふくい」夢チャレンジプラン「支援事業」に応募し、県の採択を受けた。この東京のイベントでは、現代風にアレンジした福井の伝承料理を提供し、若手農業者が参加者に野菜生産にかける思いを語る。生産者と都会の消費者との距離は確実に縮まるはずだ。

これまでの活動は盛り上がりを見せているが、まだ「一部の人だけのもの」に留まっているのが悩み。もっと広く開かれた「フラットな」活動にして、新しい感動や刺激をどんどん生み出すことが、3年目を迎えるプロジェクトを、今後も継続していく上で重要だと感じている。

フラットプロジェクト メンバー
「ふら〜つとふくい家祭(やさい)事業」実行委員長

なか むら ふみ のぶ

中村文信

勝山市出身。福井市内のデザイン会社に勤務する傍ら、「フラットプロジェクト」では3年前の創設時より企画運営を担当する。約10名のメンバーとともにワークショップやスクーリングを定期的に行う

「ふら〜つとふくい家祭(やさい)事業」

【開催日】11/17(土)

【会場】六本木農園(東京都港区六本木の「農業実験」レストラン)



拠点の「フラットビル」の改修活動もワークショップに。土壁を自分たちで塗っている様子



2011年に開催された古民家再生のスクーリング。デザイナー黒崎輝男氏の講演



チャレンジするって
素晴らしい!

ホームページ・facebookページ
「ふくい若者チャレンジクラブ」から
イベント情報などを発信中!

仲間をみつけて新しいことにチャレンジ!

『ふくい若者チャレンジクラブ』メンバー募集中

あなたも「ふくい若者チャレンジクラブ」に登録して、メンバーと新しいことを始めてみませんか。子どもたちの自然体験や、街なかでの音楽ライブやアートイベントの開催など、いろんな分野で活動する若者やこれから新しく何かを始めたいと思っている若者の活動を応援します!

詳しくはこちら ▶

福井県 若者チャレンジ

検索 🔍

事務局

福井県総務部男女参画・県民活動課 若者チャレンジ支援室 TEL:0776-20-0237
youthchallenge@pref.fukui.lg.jp FBページ「ふくい若者チャレンジクラブ」